

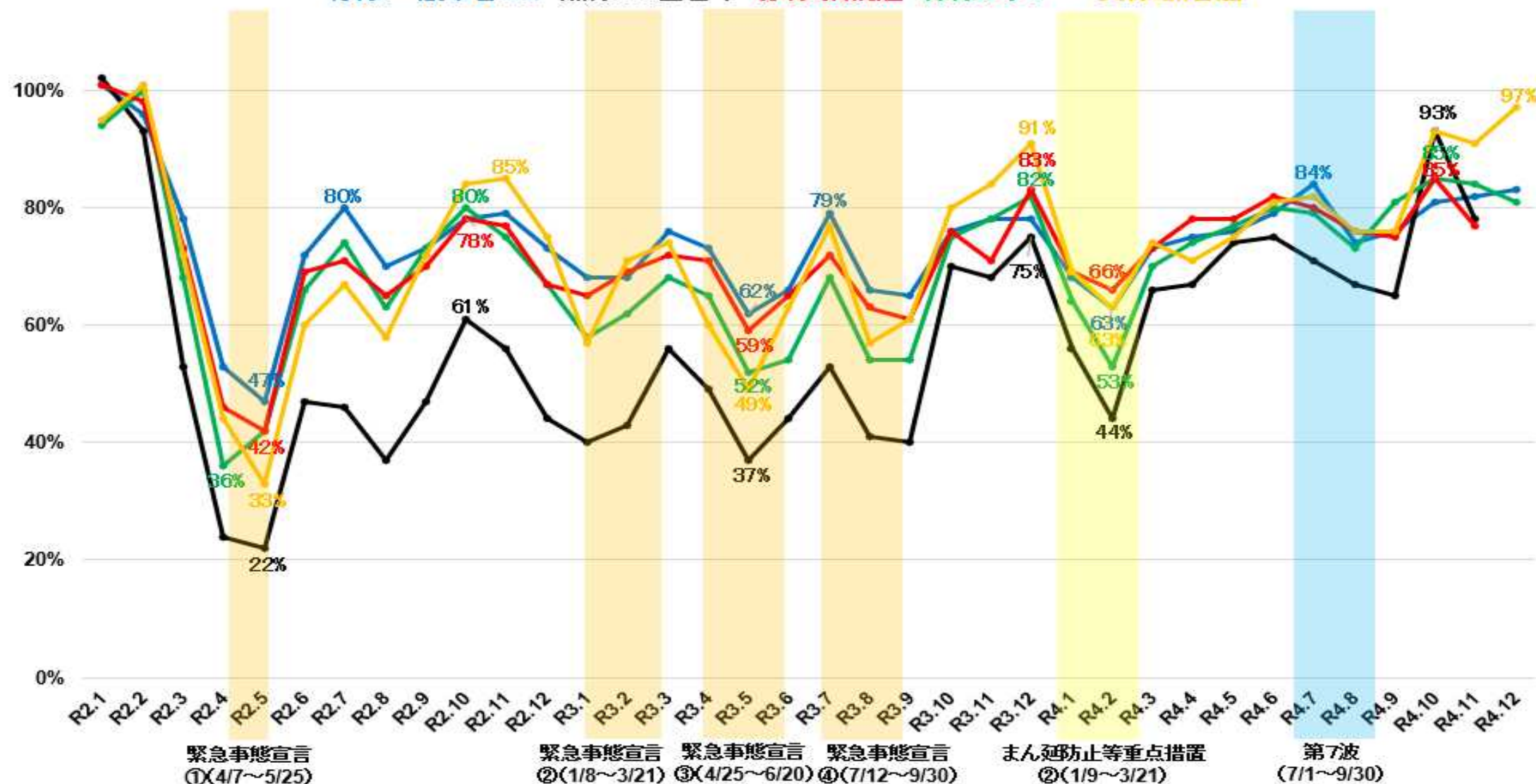
# 中国地方の交通事業者の現状

---

中国運輸局 交通政策部  
岡田 幸大

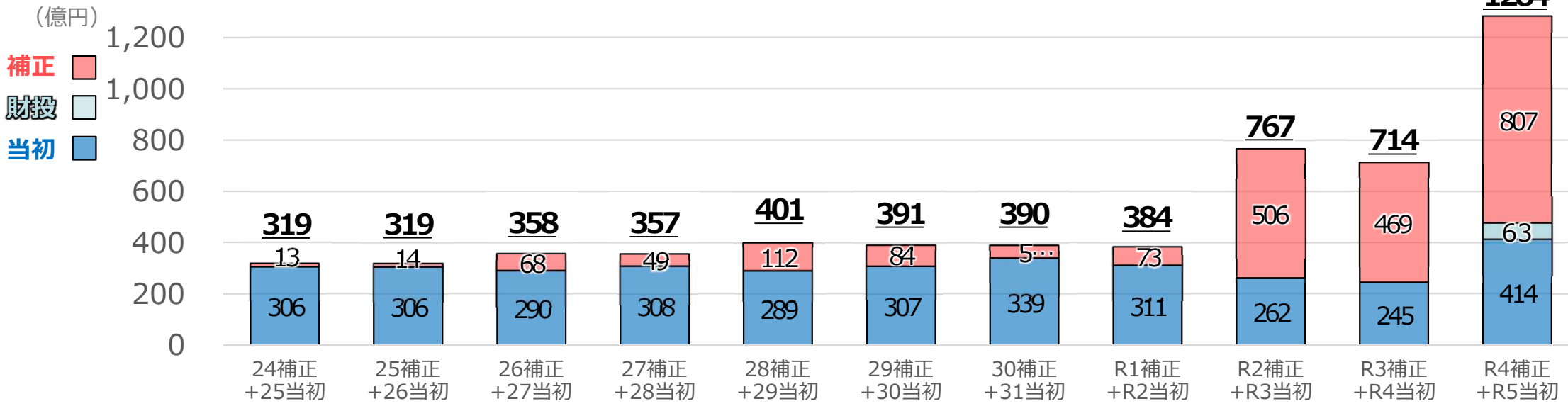
運送収入(令和元年同月比)

青線:一般乗合バス 黒線:JR西日本 赤線:鉄軌道 緑線:タクシー 黄線:旅客船



※1:各事業者団体等調査結果より集計。(一部特異なデータは除外) ※2:JR西日本及び新幹線の運送収入は、広島支社のデータ。  
 ※3:調査対象事業者:地域鉄道6社、軌道4社、一般乗合バス28社、タクシー27社、旅客船80社  
 ※4:「緊急事態宣言」と「まん延防止等重点措置」は対象地域を区分せず、感染症対策が適用されていた全体の期間。

# 地域公共交通関係予算(R4補正予算・R5予算案)

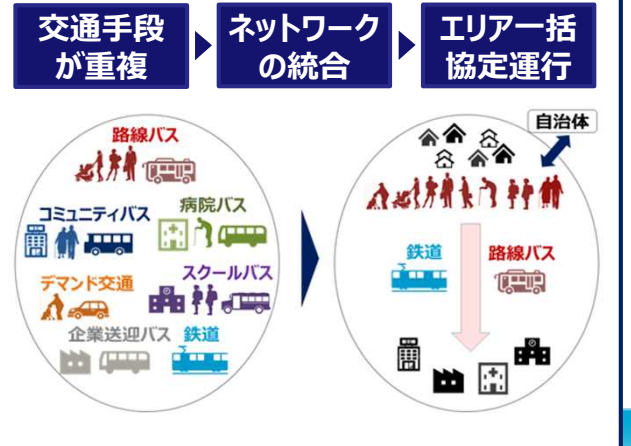


## 主なR4補正予算・R5予算案

- 地域公共交通確保維持改善事業
  - ・地域交通への運行支援
  - ・**エリア一括協定運行事業(※1)**
  - ・地域公共交通再構築調査事業
  - ・交通DX・GX
  - ・共創モデル実証プロジェクト
- 観光庁計上予算 (交通事業者支援)
  - ・交通による観光地の高付加価値化事業
  - ・インバウンド受入環境整備事業
- **社会資本整備総合交付金(※2)** 等

## (※1)エリア一括協定運行事業

- (R5~)
- ・自治体と事業者は、交通サービス内容、費用負担等の協定を締結
  - ・国は、**複数年支援**の額を事前明示 (事業改善インセンティブ)



## (※2)社会資本整備総合交付金

- (R5~)
- | 基幹事業   |         |      | 効果促進事業  |
|--|---------|------|---|
| ○ 道路   | ○ 港湾    | ○ 河川 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業の効果を高めるために必要な事業</li> <li>・全体事業費の2割目途</li> </ul> |
| ○ 砂防   | ○ 下水道   | ○ 海岸 |   |
| ○ 都市公園   | ○ 市街地整備 |      |   |
| ○ 住宅   | ○ 住環境整備 | 等    |   |
| ➡ 「地域公共交通再構築」を追加<br>➡ 「市街地整備」の「都市・地域交通戦略推進事業」を拡充 |         |      |   |





# 地域公共交通関係予算一覧(令和4年度補正予算・令和5年度予算案)

## 地域公共交通確保維持改善事業 (令和4年度補正:415億円 令和5年度予算案:207億円)

### ● 地域公共交通確保維持改善事業

- ・持続可能な地域交通を確保するための継続的な運行支援
- ・公共交通におけるバリアフリー整備加速化
- ・地域公共交通計画などの策定支援

### ● 交通DX・GXによる経営改善支援事業

地域交通事業者によるGX・DX等による経営効率化の取組支援

- ・EVバス・タクシー、AIオンデマンド交通
- ・実証運行
- ・旅客運送事業者の人材確保

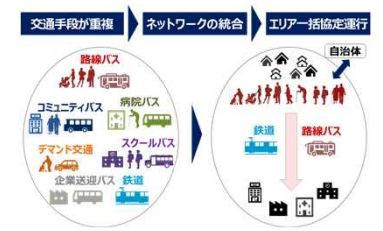


### ● 自動運転実証調査事業

- ・自動運転の社会実装に向けた実証事業

### ● エリア一括協定運行事業

地方自治体が事業者と協定を締結して一定エリアの公共交通を一括して運行する場合の補助制度を創設



### ● 共創モデル実証プロジェクト

- ・他分野・官民・交通事業者間の共創による交通プロジェクト（葉の交通、共同経営、スタートアップ企業なども支援）
- ・地域交通・まちづくり人材の育成の支援



### ● 地域公共交通再構築調査事業 (ローカル鉄道再構築)

- ・ローカル鉄道の再構築協議会設置・実証事業

## 地域鉄道の安全対策

(令和4年度補正:29億円 令和5年度予算案:26億円) ・地域鉄道における安全性向上に資する設備整備支援

## 観光地の高付加価値化事業 (令和4年度補正:200億円)

交通事業者が、観光事業者と連携して、地域交通を活用した観光地の魅力向上・高付加価値化を図る取組

- ・ラッピング列車など観光イベントの開催
- ・新規ツアー商品造成



## 訪日外国人受入環境整備 (令和4年度補正:163億円)

公共交通におけるインバウンド受入環境整備を図る取組

- ・多言語対応のデジタルサイネージ
- ・キャッシュレス決済設備導入等



## 地域公共交通再構築事業等 (社会資本整備総合交付金等)

(令和5年度予算案:約5492億円の内数)

### ● 地域公共交通再構築事業

地域交通ネットワークの再構築に必要な鉄道施設・バス施設のインフラ整備を支援 ※効果促進事業で車両導入可能

### ● 都市・地域交通戦略推進事業

都市の骨格となる公共交通軸の再構築のため、LRT・BRT・鉄道の走行空間を整備

### ※ 先進車両導入支援関連事業 (令和5年度予算案:17億円)

交付金と併せてEVバス・自動運転バスなどの先進車両を導入 ※非公共予算

# 共創モデル実証プロジェクト

- 交通を地域の暮らしと一体で捉え、行政や金融機関と連携して取り組む、様々な他分野（エネルギー、医療、教育など）との垣根を越えた「共創型交通」のプロジェクトに対し支援を実施（令和3年度補正予算で第1弾を実施）。
- 令和4年度補正予算において、第2弾の共創モデル実証プロジェクトについて要求し、全ての共創の取組に対象を拡大するとともに、地域交通・まちづくり人材育成支援や、スタートアップ企業支援を実施。

## 共創モデル実証プロジェクト

・交通を地域の暮らしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、複数の主体が連携して行う取組を支援。実証運行の経費等を補助。

## プロジェクトイメージ

### <プロジェクト第1弾：他分野共創>【R3補正】

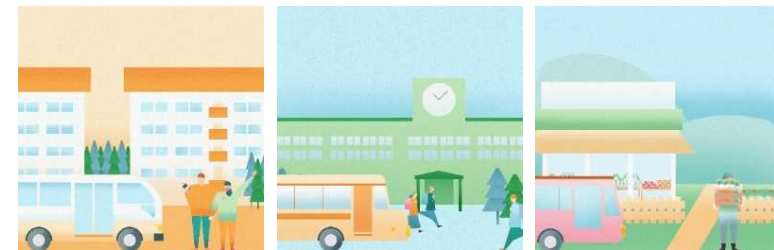
以下のような他分野と交通事業者の連携により、交通を地域で支える取組を行う地域をプロジェクトとして支援。  
**事業費の2/3**（上限2,000万円）を補助。



医療×交通

介護×交通

エネルギー×交通



住宅×交通

教育×交通

農業×交通

事業に関与

立ち上げ支援

自治体・金融機関

共創モデル実証プロジェクト

4

## プロジェクト第2弾（全ての共創・人への投資）【実証運行経費等の2/3を補助（上限1億円）】

- 第1弾では「葉の交通」における他分野共創の好事例が多数選定され全国で実施。

### 【プロジェクト第1弾の例：プロジェクト15地域採択（令和4年6月）】

- ・デジタル配車システムを活用したタクシー事業者による介護送迎受託
- ・習い事（スイミング教室、学習塾）コミュニティ内の親どうしの助け合い子供送迎サービスの実施
- ・ミニバスターミナル整備と、病院と連携した簡易健康診断や、貨客混載バスの運行
- ・買物や教育・エネルギー等、地域の暮らしのサービスと交通サービスを掛け合わせたサブスク 等

- 未選定事例にも、交通事業者間共創（エリア内交通のサブスク化）や、官民共創（まちづくりスマートシティ）など、他分野共創にとどまらない提案が多数応募。

- また、持続可能な地域交通の成功のカギは「地域交通・まちづくりと他分野を結び付けるコーディネート人材発掘」「若者スタートアップ企業との共創」との指摘あり。

- ➔ **他分野にとどまらず官民、事業者間共創など全ての共創の取組**を広く発掘
- ➔ **地域交通・まちづくり人材育成支援**や、**スタートアップ支援**を実施 等